

問1 インドネシアなどの熱帯地域で見られる、あぶらやしを生産する「プランテーション」と呼ばれる農業形態の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 乾燥した気候に適応するため、地下水路やオアシスの水を利用して、小麦やナツメヤシなどを栽培する農業。 | 2. 自給自足を目的に、限られた家族労働力を用いて、多種類の穀物や野菜を小規模な農地で栽培する農業。 | 3. 先進国の大都市近郊において、土地を高度に利用し、消費者の需要に合わせて野菜や花などを生産する農業。 | 4. かつての植民地支配を背景に、現地の安価な労働力と欧米の資本・技術を用いて、特定の輸出作物を大規模に栽培する農業。 |
|--|--|--|---|

問2 タイ、中国、インドの米の生産量と輸出量を比較した統計において、中国やインドは生産量が極めて多いものの、生産量に対する輸出量の割合は低くなっています。一方で、タイは生産量に占める輸出量の割合が高いことが特徴です。このようにタイが多くの米を輸出できる理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 中国やインドの米は品質が悪く輸出に適さないため、タイが国際市場を独占しているから。 | 2. タイでは国内で米を食べる習慣がなく、生産されたすべての米を輸出用として栽培しているから。 | 3. タイ政府が国民の消費を厳しく制限し、強制的に輸出量を増やしているから。 | 4. 中国やインドに比べて人口が少なく、国内での消費に回される割合が低いため、余剰分を積極的に輸出に回せるから。 |
|--|---|--|--|

問3 東南アジアに位置するある国は、1953年にフランスから独立し、その後南北に分かれた戦争を経て統一されました。1995年に東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟し、日本との貿易統計において輸出額が輸入額を上回る貿易黒字を記録したこともあるこの国について、日本への輸出品目の中で最も大きな割合を占めているものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|-------|---------|
| 1. パーム油 | 2. 衣類 | 3. 原油 | 4. 天然ゴム |
|---------|-------|-------|---------|

問4 東南アジアに位置し、スマトラ島、ジャワ島、カリマンタン島、スラウェシ島など多くの島々から構成される世界最大の群島国家であるインドネシアにおいて、国民の約90%が信仰しており、世界で最も信者数が多い国として知られる宗教を選びなさい。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-------|----------|----------|
| 1. ヒンドゥー教 | 2. 仏教 | 3. イスラム教 | 4. キリスト教 |
|-----------|-------|----------|----------|

問5 日本も加盟しているAPEC（アジア太平洋経済協力会議）について、その特徴や目的を説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2014年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--|
| 1. 太平洋を囲む多様な地域が協力し、経済的な結びつきや自由な貿易を促進する。 | 2. 世界の貿易に関するルールを定め、貿易摩擦が生じた際に解決を仲裁する。 | 3. 東南アジア諸国の経済発展と地域の安定、平和の維持を主な目的としている。 | 4. 加盟国間で関税を完全に撤廃し、ヨーロッパのような一つの大きな経済圏を作る。 |
|---|---------------------------------------|--|--|

問6 西アジアなどの資源産出国において、輸出総額に占める原油の割合が極めて高い状態にある国の経済的特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 自国内で全ての経済活動が完結しているため、世界の景気変動による影響をほとんど受けない。 | 2. 工業化が高度に進展しており、原油価格が変動しても工業製品の輸出で安定した収益を確保できる。 | 3. 特定の一次産品への経済依存度が高く、国際価格の下落が国内経済に大きな打撃を与えやすい。 | 4. 輸出先が多岐にわたるため、特定の品目の割合が高くても経済の安定性が非常に高い。 |
|--|--|--|--|

問7 インドの都市コルカタで見られる雨温図のデータの特徴について、適切に説明しているものはどれですか。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|------------------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 1. 年間を通じて気温が高く、6月から9月頃に掛けて降水量が集中する雨季がある。 | 2. 年間を通じて降水量が非常に少なく、気温の年変化もほとんどない。 | 3. 年間を通じて平均気温が非常に低く、降雪が多い。 | 4. 夏にあたる時期に降水量が著しく減少し、乾燥する気候である。 |
|--|------------------------------------|----------------------------|----------------------------------|

問8 東南アジアに位置するマレーシアは、古くからの先住民やマレー系のほかに、歴史的な経緯から中国やインドなどから移り住んだ人々が共に生活しています。このように、異なる言語、宗教、文化を持つ複数の民族によって構成されている国家の形態を何と呼びますか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|---------|----------|----------|
| 1. 単一民族国家 | 2. 都市国家 | 3. 多民族国家 | 4. 君主制国家 |
|-----------|---------|----------|----------|

問9 アジアで見られる季節風（モンスーン）の仕組みや影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 大西洋から一年中一定の方向に吹き続けるため、季節による降水量の変化が少ない | 2. 太平洋の寒流の影響を強く受けた風が、アジア全域を一年中乾燥させる | 3. チベット高原から吹き下ろす乾燥した風が、東南アジアに夏の大雨を降らせる | 4. 夏は海から陸へ、冬は陸から海へと、季節によって吹く方向が変化する |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|

問10 中国、インド、ケニア、スリランカなどが世界的な生産上位を占める「茶」の生産背景について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 高度に機械化された大規模農業が中心であり、主に先進工業国での生産が盛んである | 2. かつての植民地支配の影響により、輸出を目的としたプランテーションでの栽培が発達した経緯がある | 3. 砂漠化の進行に強い作物であるため、降水量の極めて少ない乾燥地帯の貴重な現金収入源となっている | 4. 家畜の飼料としての需要が急増したため、広大な熱帯雨林を切り開いた牧場跡地で栽培されている |
|---|---|---|---|

問11 ヒンドゥー教を信仰する人々が、生活の一部としてガンジス川などの川で「沐浴」を行う目的として、最も適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 砂漠地帯で不足する生活用水を効率的に活用するための公衆浴場として利用するため。 | 2. 一か月の断食期間に入る前に、身体を清潔に保つ儀式を行うため。 | 3. 厳しい修行の一環として、冷たい水に耐える忍耐力を養うため。 | 4. 聖なる川の水によって、これまでの罪を洗い流し、心身を清めるため。 |
|--|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|

問12 インドやブラジルなどの新興国において、日本やドイツなどの外国企業が現地で直接、乗用車の生産を行う主な理由として適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 新興国では労働賃金が日本などの先進国よりも極めて高いため、より高価な製品を製造・販売できるから。 | 2. 先進国では自動車の需要が完全になくなったため、すべての生産拠点を新興国に移転する必要があるため。 | 3. 国際連合の環境協定により、先進国国内での自動車生産台数が一律で厳しく制限されているため。 | 4. 経済成長に伴い拡大する現地の市場で製品を効率よく販売し、輸送費などのコストも削減するため。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 かつての植民地支配を背景に、現地の安価な労働力と欧米の資本・技術を用いて、特定の輸出用作物を大規模に栽培する農業。	プランテーションは、16世紀以降の欧米諸国による植民地経営の一環として発達しました。インドネシアではオランダによる支配下でこの体制が整えられ、現在も外貨を獲得するための重要な産業となっています。特定の作物（モノカルチャー）に依存するため、国際価格の変動による経済への影響や、農園拡大に伴う熱帯林の破壊といった課題も抱えています。
問2	答え 4 中国やインドに比べて人口が少なく、国内での消費に回される割合が低いため、余剰分を積極的に輸出に回せるから。	タイは世界有数の米輸出国ですが、総生産量では人口の多い中国やインドに及びません。しかし、中国やインドは巨大な人口を抱えているため、生産された米のほとんどが自国内で消費されてしまいます。これに対し、タイは国内人口が相対的に少なく、自国で消費する分を除いても多くの余剰が生じるため、生産量に対する輸出の割合が高くなるという構造を持っています。
問3	答え 2 衣類	ベトナムは1953年にフランスから独立し、南北分裂を経て統一された後、市場経済を導入する「ドイモイ（刷新）政策」によって急速な工業化を遂げました。1995年にASEANに加盟し、経済成長に伴って日本への輸出も拡大しており、特に安価で質の高い労働力を活かした衣類などの繊維製品が主要な輸出品目となっています。
問4	答え 3 イスラム教	インドネシアは世界最大のイスラム教徒人口を抱える国です。かつて海上交易を通じてアラビア半島やインドから商人が訪れたことで伝来し、現在では人々の生活習慣や文化、祝祭日のあり方に深く結びついています。東南アジアの大陸部（タイやミャンマーなど）では仏教が盛んですが、島嶼部のインドネシアやマレーシアではこの宗教が主流となっている点が特徴です。
問5	答え 1 太平洋を囲む多様な地域が協力し、経済的な結びつきや自由な貿易を促進する。	APECはアジアだけでなく、北米や南米、オセアニアを含む太平洋沿岸の広範な地域を対象としている点が大きな特徴です。特定の地域における強い統合（EUのような形態）を目指すものではなく、緩やかな協力関係によって地域の経済活性化を図っています。東南アジアを対象とするものはASEAN、貿易ルールを扱うのはWTOの説明です。
問6	答え 3 特定の一次産品への経済依存度が高く、国際価格の下落が国内経済に大きな打撃を与えやすい。	輸出総額に占める原油の割合は、その国の経済がどれだけ特定の資源に頼っているかを示す指標です。原油のような一次産品は、国際情勢や需要の変化によって価格が激しく変動するため、依存度が高い国では自国の努力とは別に、国際価格の下落が国家財政や国民生活に深刻な影響を及ぼすというリスクを抱えています。
問7	答え 1 年間を通じて気温が高く、6月から9月頃にかけて降水量が集中する雨季がある。	インドのコルカタは年間を通じて気温が高い熱帯の気候を示します。また、夏のモンスーンの影響を大きく受けるため、6月から9月頃にかけて非常に多くの雨が降る雨季と、冬を中心とした乾季が明確に分かれます。
問8	答え 3 多民族国家	マレーシアは、人口の約6割を占めるマレー系のほか、中国系（華人）やインド系の人々が共生する国です。それぞれの民族がイスラム教、仏教、ヒンドゥー教などの異なる宗教を信仰し、独自の文化を維持しながら社会を構成しているため、多民族国家の代表的な例として知られています。
問9	答え 4 夏は海から陸へ、冬は陸から海へと、季節によって吹く方向が変化する	季節風は、大陸と海洋の温まりやすさ（比熱）の違いによって生じます。夏は大陸の温度が海よりも早く上がるため、気圧が低くなった大陸側へ向かって、インド洋などの海側から湿った空気が流れ込みます。これにより、アジアの多くの地域で夏に降水量が多くなる傾向があります。
問10	答え 2 かつての植民地支配の影響により、輸出を目的としたプランテーションでの栽培が発達した経緯がある	インドのダージリンやスリランカのセイロン、ケニアなどの茶の産地は、かつてイギリスの植民地であった地域が多く、ヨーロッパへの輸出を目的とした大規模農園（プランテーション）が作られた歴史的背景があります。現在もこれらの国々にとって、茶は重要な輸出用農産物となっています。
問11	答え 4 聖なる川の水によって、これまでの罪を洗い流し、心身を清めるため。	ヒンドゥー教において水には不浄を払い、清める力があると信じられています。特にガンジス川は女神が姿を変えた聖なる川とされており、そこで沐浴をすることは信者にとって最大の功德の一つと考えられています。断食（ラマダン）は主にイスラム教の習慣です。
問12	答え 4 経済成長に伴い拡大する現地の市場で製品を効率よく販売し、輸送費などのコストも削減するため。	多国籍企業が新興国に進出する背景には、人口増加や経済発展によって将来的に大きな消費が見込める「市場」としての魅力があります。現地で生産を行うことで、完成品を輸出する際にかかる輸送費や関税を抑えることができ、現地の消費者のニーズに合わせた製品を素早く供給することが可能になります。また、先進国に比べて安価な労働力を活用し、生産コストを抑える狙いもあります。